

## 子牛の冬場の管理について

秋も深まり、日を追うごとに気温も下がり、冬の季節が少しずつ近づいてまいりました。今年は暖冬傾向ともいわれておりますが、子牛は成牛に比べ体のつくりが未発達なため健康管理に注意が必要です。



### ○ ミルクの給与

- ・子牛が生まれたら、**出来るだけ早く初乳を与えましょう。**  
初乳中に含まれる免疫抗体は分娩直後が最も高く、時間が経つにつれどんどん低下します。また、子牛の免疫吸収率は、出生から 6 時間後には出生直後の 50%、12 時間後には 12% 以下になり、24 時間後にはほとんど吸収されません。その後の発育や、病気に負けないからだを作るために初乳の速やかな給与が必要です。
- ・子牛は気温が 20℃を下回ると、体温維持のためのエネルギー要求量が高まり、その値は気温が下がるほど多くなります。そのため**冬場の給与は子牛の調子に合わせて増給**するか、1 日の給与回数を増やして、多めに与えるようにしましょう。

### ○ 換気と寒さ対策

- ・冬場、子牛の病気に多いものに肺炎が挙げられます。発症の原因として、寒暖差によるストレスやアンモニアガスなどです。  
冬場の牛舎は寒さのため、締め切りがちになってしまい換気が悪くなってしまいう場合があります。**アンモニアが滞留しないように気をつけましょう。**
- ・**寒さ対策はカーフジャケットの着用が一般的**です。皮下脂肪が薄く、未発達の第一胃のため発酵熱も少ない子牛は体温管理が困難です。カーフジャケットの着用は保温効果を高め、換気中の寒さも軽減できます。
- ・冬場は牛床が乾きにくく、体表面が濡れていると急激に体温が奪われます。特に腹下の冷えは、消化不良、下痢を引き起こすため**敷料はこまめに換え厚く敷きましょう。**冬場の敷料として効果的なものは稲ワラです。厚く敷いたワラは隙間に空気を含み、断熱性も高まります。 (H.N)

◎ 第8回理事会報告 令和5年11月2日(木)午後1時 南信酪農 3F 会議室

1. 令和5年度第2四半期監査報告並びにてんまつ処理について
2. 新春交流会について
3. 電子取引データの修正及び削除の防止に関する事務処理規程について
4. 県酪農協会 Eat 事業（全国酪農協会地域酪農活性化支援事業）について
5. 組合員出資の減額について
6. その他

◎ 主な行事、予定

11/21 長野畜振(株)監査	12/13 専門委員会
11/24~25 県B&Wショウ	12/14 農林水産省の講演・意見交換会
11/24 中信支部・肉牛部会合同畜魂祭	12/14 県生乳生産販売委員会
11/27 東海酪連上半期決算監査	12/15 新生酪農(株)取締役会
11/30~12/1 役員研修旅行	12/19 東海酪連理事会
12/7 酪農共済推進	12/20 定例会
12/7 専門酪合併協議会	12/22 理事会
12/8 長野畜振(株)取締役会	

◎ 年末年始の屠場休業日のお知らせ

松本屠場 12月29日(金)~1月3日(水)

◎ 年末年始の休業のお知らせ

令和5年12月30日(土曜日)から令和6年1月4日(木曜日)まで休業となります。  
飼料等の注文・預り金の払い戻しは早めにお問い合わせください。

◎ 配合飼料価格安定基金(第2四半期)価格差補てん金の交付について

配合飼料価格差補てん金(補てん金単価5,250円/ト)・商系は5,870円/ト)を  
令和5年11月16日、経済預り金(酪農口)へ振り込みました。

通常補てん金単価 3,150円/ト 異常補てん金単価 2,100円/ト

尚、全日基(商系の安定基金)は令和4・5年度の通常補てん金支払いについては分割  
交付としている為、下記の通りとなります。

通常補てん金 R4 第3四半期 4回目	1,813円/ト
通常補てん金 R5 第1四半期 2回目	1,057円/ト
通常補てん金 R5 第2四半期 1回目	900円/ト
異常補てん金 R5 第2四半期	2,100円/ト
合計	5,870円/ト

◎ 10月分支払い乳代

項 目	単 価	摘 要	前年単価
① 共同計算単価	134.00 円		115.70 円
② 全農手数料	0.74 円	全農長野取扱手数料	0.74 円
③ 全農控除分	6.24 円	(令和5年度乳代精算控除経費一覧表参照)	5.47 円
④ 指導補導費控除分	1.30 円	組合独自の控除	1.30 円
⑤ 組織強化費控除分	0.63 円	組合独自の控除	0.7 円
⑥ 組合手数料	1.2%	差引乳代金×率	1.2%
⑦ 出荷総乳量		1, 197, 841 kg	
⑧ 搾乳戸数			39 戸

◎ 乳質・乳成分ペナルティー発生状況 (Bランク以下) 10月分 (戸数)

	乳脂肪分	無脂乳固形分	乳蛋白質	細菌数	体細胞数	合 計
上 旬	1	0	1	0	8	10
中 旬	1	0	1	0	6	8
下 旬	0	1	1	0	4	6
合 計	2	1	3	0	18	24

※ ペナルティー発生戸数 12 戸

◎ 乳質・乳代精算の状況 10月出荷分乳代精算の結果は下記のとおりです。

	乳 量 (トン)	乳質奨励 (千円)	奨励単価 (円/kg)	乳質減額 (千円)	減額単価 (円/kg)	差引金額 (千円)	差引単価 (円/kg)
東海計	23,881	48,383	2.03	11,744	0.49	36,638	1.53
長野計	6,670	15,143	2.27	2,199	0.33	12,944	1.94
南 酪	1,198	2,697	2.25	155	0.13	2,542	2.12

◎ 月間良質乳ランキング分布表

良質乳総合得点	戸 数	乳 量
300点~200点	32	1,111,878 Kg
200点~100点	6	78,548 Kg
100点以下	1	7,415 Kg

【月間良質乳生産者上位10名 (10月分)】 同点のため11名

- ・ 平林 雄二 300点
- ・ 小林 秀昭 300点
- ・ 渡辺 俊夫 300点
- ・ 小野寺土菜 300点
- ・ 倉科 茂男 290点
- ・ 中島 博幸 290点
- ・ 岩岡 俊義 290点
- ・ (有)北アルプス牧場 290点
- ・ 久保田隆弘 290点
- ・ 下田 正二 280点
- ・ 萬谷 宏 280点



## ◎ 生乳出荷時の注意点

秋も深まり冬支度に忙しい季節となりました。

抗生物質及び異物の混入やバルククーラースイッチの入れ忘れ等、生乳出荷時のうっかりミスが無いよう注意点を再確認しましょう。

### ◀ **確認事項** ▶

- ① 治療を受けた場合、**抗生物質の使用有無を確認**する。
- ② 抗生物質等を使用した出荷**制限期間内の牛**（子宮内抗生物質使用を含む）を搾乳者間（ヘルパー含む）で**マーカ一等を用いて明確**にする。
- ③ 抗生物質等を使用した牛については全分房を出荷停止にし、休薬期間終了後、抗生物質残留検査で**陰性を確認後に出荷**する。
- ④ 分娩直後の牛については抗生物質残留及び血乳検査し、陰性を確認後に出荷する。
- ⑤ 搾乳機器等の操作手順、作動確認を搾乳者間で確認する。
- ⑥ **僅かでも異常、異変がある場合は直ちに各事業所に連絡を取り指示を待つ。**

**少しの気の緩みが  
大きな損失に繋がりがねません！！**



## ◎ 臨時総会議事の結果について

第1号議案の飼料・生産資材等高騰緊急対策事業の実施に伴う特別積立金取崩については可決決定されました。取崩額は6,528,000円です。

## ◎ 飼料・生産資材等高騰緊急対策事業 補填金の支払いについて

令和5年11月30日 各経済預り金（酪農口）へ振り込みます。

## ◎ Eat事業（乳製品消費拡大事業）について

12月に組合員の皆様に乳製品セットをお届けします。日頃の組合事業への御理解・御協力に感謝致します。低迷が続いている牛乳・乳製品消費拡大の支援を共に進めて行きましょう。

